

請 願 書

鳩山由紀夫内閣総理大臣殿

年 月 日

日本解体法案である「日教組教育復活」について反対いたします。

【反対理由】

- 1) 男女平等教育に関して
行き過ぎたジェンダーフリー（男女性差の解消）や女子差別の撤廃など、本来の人権意識からかけ離れ、伝統的な価値観を深慮しない教育の実践により、性差の違いを理解できない子供たちが増える恐れがある。
- 2) 戦後の日本史観に関して
「戦前の日本は悪」など歴史観を自虐的に歪曲して教えるため、自国への誇りを持たない子供たちが増える。
- 3) 道徳教育への姿勢に関して
道徳教育を「強制」と否定し、「自己の主張」と「責任の放棄」を履き違えた価値観を教える事で、学級崩壊の多発、モンスターペアレントの増加等、教育環境を更なる悪循環に陥れる危険性がある。
- 4) 国歌・国旗の否定に関して
「日の丸の赤はアジアの民衆の血の色、白は骨の色」などと教える事で子供たちが反日思想を持ちかねない。
- 5) 教育中立性の遵守に関して
教育基本法や教育公務員特例法によって中立が定められているにも関わらず、子供を利用して政治的主張を行う等、法令を遵守していない現状がある。
- 6) 全国学力テストへの姿勢に関して
全国学力テストに反対しており、結果、子供の学力低下が、現状より一層著しくなる事態が懸念される。
- 7) 天皇制に関して
仁徳天皇陵古墳を大仙古墳という名称で指導するなど、天皇並びに皇室を軽んじる教育を行っている。
- 8) 靖国神社問題に関して
靖国神社参拝への反対を指導するなど極めて一元的な価値観を子供たちに強制している。
- 9) 自衛隊に関して
自衛隊を「軍隊」「戦争に駆り立てる悪」とみなし、縮小・改編を主張、偏った価値観を強制している。
- 10) 学習指導要領に関して
学習指導要領の大綱化を求めて空文化を狙い、日教組の政治的主張を推進が憂慮される。
- 11) 子どもの権利条例に関して
「子どもの権利条例」が制定すると、正しい躰をすると子供から訴えられる可能性がある。
- 12) 教科書問題に関して
日教組は教科書採択の学校単位化を求めており、それによって日教組による恣意的な採択が憂慮される。
- 13) 学校理事会の設置に関して
日教組教育が活性化した折に学校理事会に強権があると、職務から逸脱した教員の制止が難しくなる。
- 14) 組合活動と授業の問題に関して
授業を停止して自習させ、日教組組合活動に熱心に取り組む教師の事例報告も少なくない。これは、教育を受けさせる義務、教育を受ける権利を著しく妨害している事に他ならない。

上記項目により「日教組教育復活」反対の理由とする。以上

住所：
氏名： (印)
年齢： 歳